

ふれあいの森総合公園

「ふれあいの森総合公園」の49ヘクタールの敷地には、森の中の散策路や九州の西側に開けた玄界灘を望める場所などがあります。この公園の東部には、「望みの丘」という展望台があります。この展望台からは、沖ノ島が見えます。沖ノ島は聖なる島であり、古くから信仰の対象となってきました。

この公園の森にある巣箱には、様々な鳥類が集まります。この森でよく見られる鳥には、ウグイス、カワラヒワ、ハクセキレイ、メジロなどがいます。この公園にある2つの池の近くでは、黄昏時にゴイサギが見つかることもあります。

秋の大浦池周辺では、いちよの葉が色づいて、黄金の葉のじゅうたんができます。冬には、フユイチゴ（学名：*Rubus buergeri*）のつるが、森の下生えの中で、赤いイチゴのような実をつけます。冬の相原池周辺ではツバキが咲き、春にはソメイヨシノの花が開きます。ソメイヨシノは、池と運動場の周辺に植えられています。

「ふれあいの森総合公園」のその他の施設には、子どもの遊び場、スケートボード場、2つの東屋などがあります。